

[資料2]

新型コロナウイルス感染症の状況について

令和3年10月

山口県後期高齢者医療広域連合

1 新型コロナウイルスに係る患者数等の状況（発生状況）

9月30日現在の患者数（入院患者数等）は、山口県81人、全国27,213人で、人口10万人当たり患者数は、山口県が6.0人となり、全国21.6人の27.8%である。

また、人口10万人当たり累計患者数は、山口県が全国の30.9%である。

図1-1及び図1-2は、山口県及び全国の現在患者数の推移であり、令和3年5月と令和3年8月を比較すると、山口県が約1.4倍に対し、全国は約3.2倍と大きくなっている。

表1 国内及び山口県の発生状況

9月30日更新分

		現在患者数 ①- (②+③)	新規患者数	累計患者数 ①	死亡者数 ②	退院者数 ③	総人口（千人） 2020年10月1日
実数（人）	山口県	81	11	5,586	89	5,416	1,343
	国内	27,213	1,665	1,697,085	17,641	1,652,231	126,227
人口10万人あたり	山口県	6.0	0.8	415.9	6.6	403.3	
	国内	21.6	1.3	1,344.5	14.0	1,308.9	

以下、全ての資料は、山口県、厚生労働省資料から

図1-1 山口県の現在患者数の推移

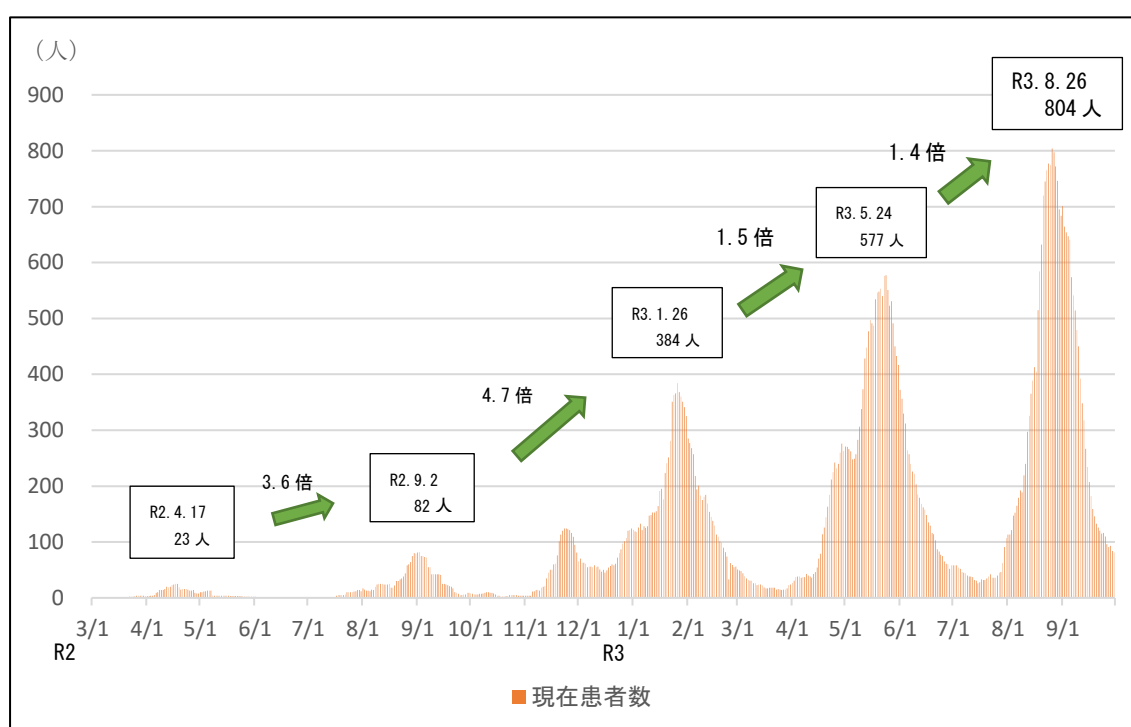
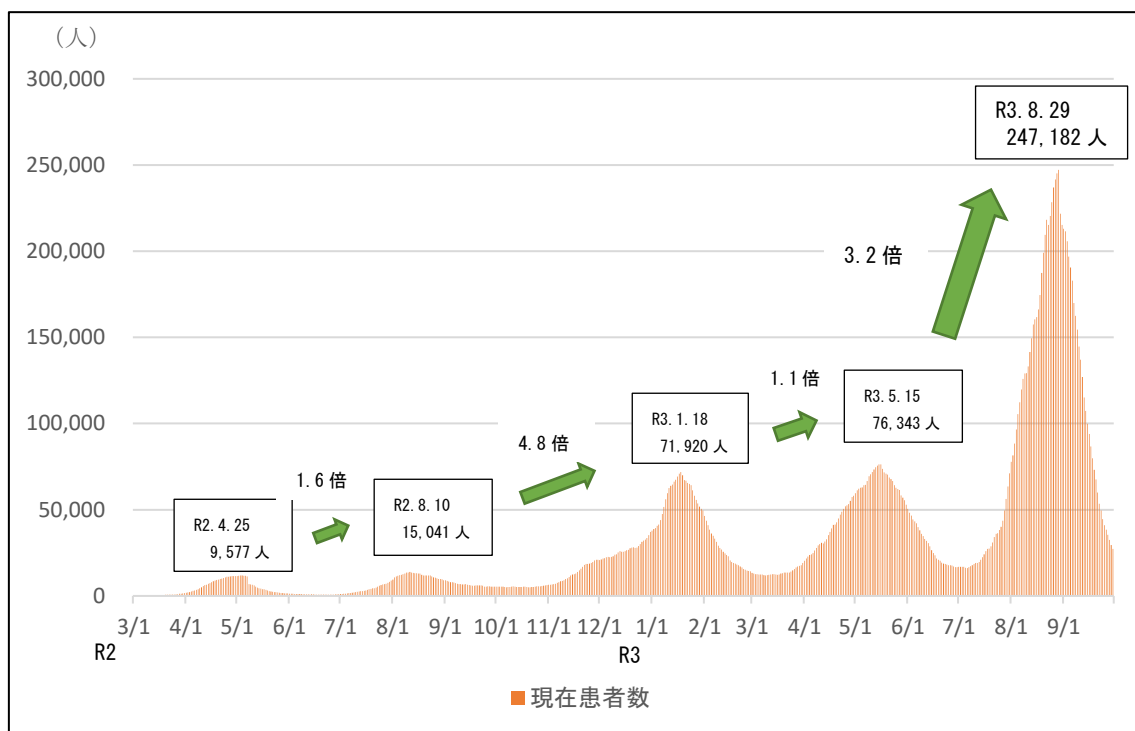


図 1-2 国内の現在患者数の推移



年代別の感染状況を見ると、20代、40代、30代の順に多く、70代が452人、80代が326人、90代以上が156人となっており、後期高齢者の累計感染者数は、482～934人の間と推測される。

なお、山口県及び全国の年代別感染者の構成比は図2のとおりで、山口県は全国と比較して10代、60代から90代以上の構成比が高くなっている。

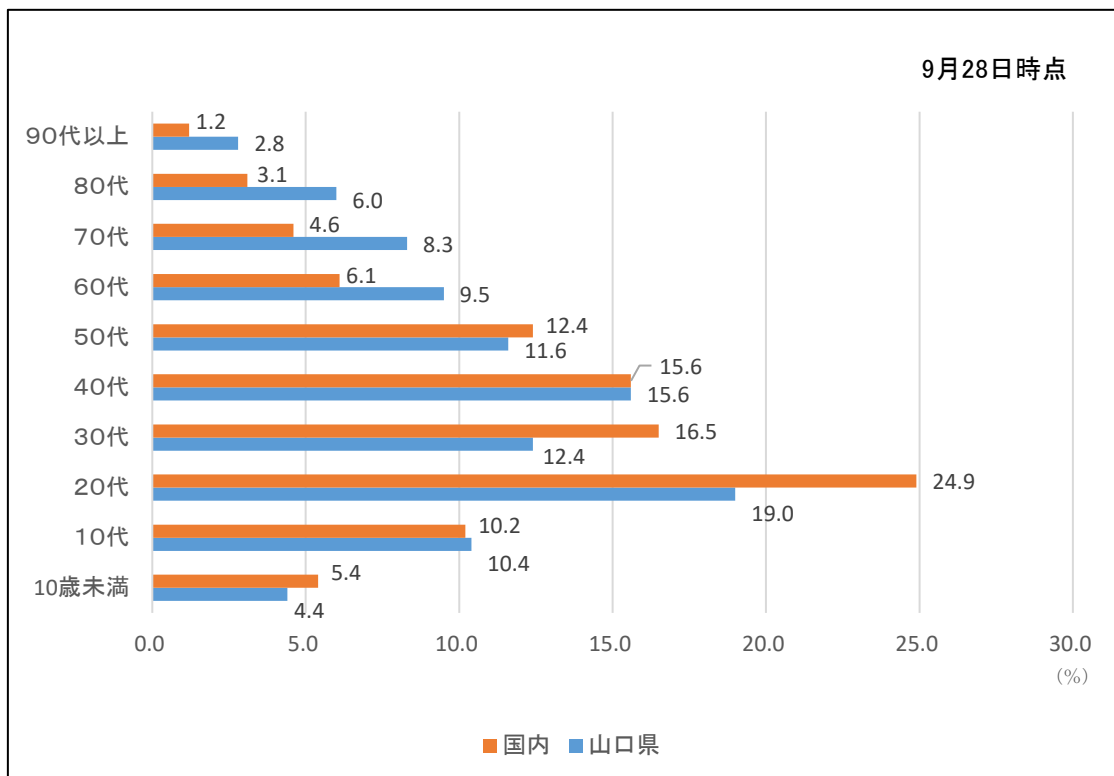
また、70代以上の各月ごとの新規感染者数の推移は図3のとおりであり、令和3年5月が253人と最も多い。

表 2 年代別累計感染者数（山口県） 9月30日時点

(単位：人)

合計	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100代
5,584	307	623	1,032	673	861	638	516	452	326	145	11

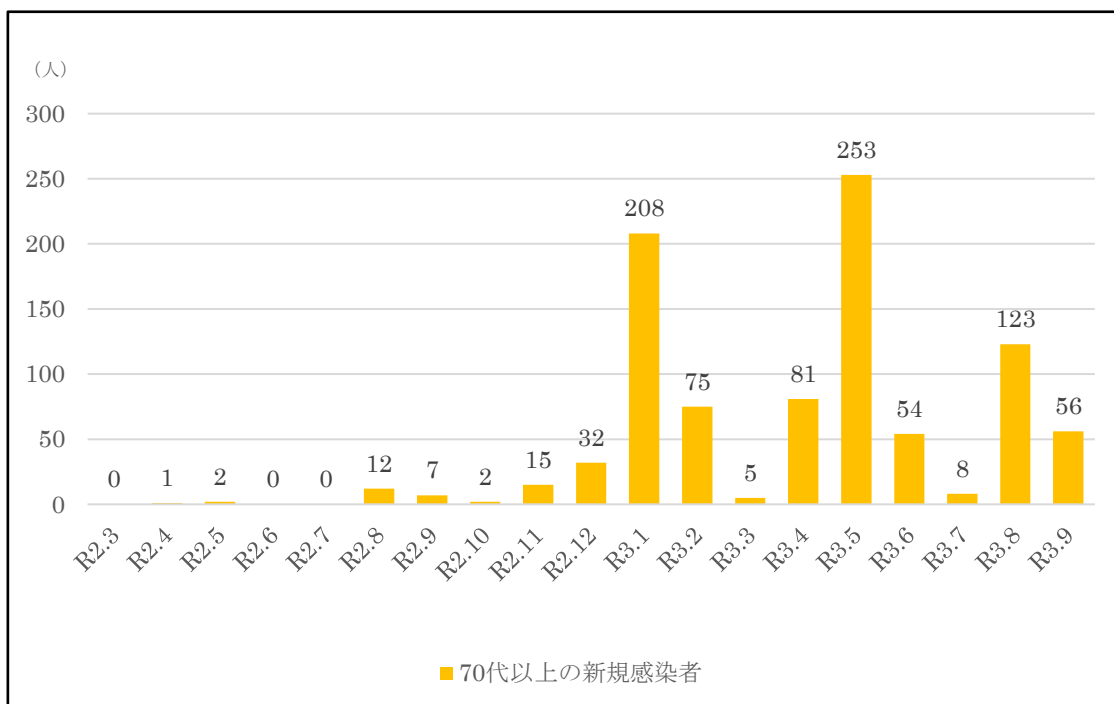
図2 年代別累計感染者数の割合（山口県、国内）



※性別・年代不明・非公表の人数は含まれない。

図3 70代以上の新規感染者数の推移（山口県）

9月30日時点



2 医療費の状況

新型コロナウイルスの影響が考えられる令和元年度以降の医療費は、表1のとおりであり、殆ど影響のなかった令和元年度からの伸び率（対令和元年度同月比）は、表2のとおりである。

また、令和3年度の、令和2年度からの伸び率（対令和2年度同月比）は表3のとおりである。

表1 月別医療費等の状況

(診療月)		被保険者数 (人)	医療費総額 (百万円)	(円)	1人当たり医療費		
					入院	入院外	歯科
令和元年度	H31. 3月	242,027	21,224	87,691	49,858	34,234	2,783
	4月	242,376	21,098	87,046	47,490	35,970	2,738
	R1. 5月	242,482	20,920	86,274	48,891	33,931	2,640
	6月	242,649	20,514	84,543	47,533	33,505	2,654
	7月	242,792	21,828	89,904	49,638	36,575	2,793
	8月	243,131	21,007	86,400	48,998	34,199	2,325
	9月	243,510	20,666	84,865	47,518	33,953	2,535
	10月	243,617	21,718	89,147	49,604	35,870	2,787
	11月	243,546	21,077	86,542	48,659	34,166	2,763
	12月	243,267	21,278	87,466	48,829	34,906	2,766
	R2. 1月	243,713	21,196	86,973	50,346	33,272	2,467
	2月	243,975	20,246	82,984	47,564	31,930	2,579
	年度計	243,090	252,770	1,039,820	584,927	412,497	31,830
令和2年度	R2. 3月	244,106	21,313	87,311	49,280	34,454	2,681
	4月	244,171	20,210	82,770	45,821	33,630	2,460
	5月	244,036	19,180	78,595	45,035	30,462	2,235
	6月	243,986	20,235	82,935	45,820	33,430	2,770
	7月	243,975	20,887	85,613	47,600	34,410	2,697
	8月	244,015	20,186	82,725	47,202	32,185	2,404
	9月	244,033	20,295	83,166	46,673	32,996	2,580
	10月	243,844	21,192	86,906	48,151	34,898	2,941
	11月	243,555	20,145	82,712	47,224	31,785	2,732
	12月	242,964	21,379	87,993	49,907	34,249	2,878
	R3. 1月	243,223	20,230	83,175	48,815	31,089	2,341
	2月	243,141	18,997	78,131	44,100	30,614	2,523
	年度計	243,754	244,250	1,002,033	565,620	394,211	31,240
令和3年度	R3. 3月	242,863	21,807	89,793	49,864	35,998	2,963
	4月	242,498	20,616	85,015	46,354	34,852	2,861
	5月	242,241	19,795	81,715	46,952	31,285	2,546
	6月	242,323	20,303	83,785	46,320	33,674	2,799
	小計	242,481	82,521	340,319	189,495	135,815	11,170

※数値は「後期高齢者医療毎月事業状況報告書」

(注)「医療費」の「入院」には「食事療養・生活療養（医科）」を、「入院外」には「調剤」を、「歯科」には「食事療養・生活療養（歯科）」を含む。

表2 月別医療費等の令和元年度からの伸び率（対令和元年度同月比）

（単位：％）

(診療月)		被保険者数	医療費		1人当たり医療費		
					入院	入院外	歯科
令和2年度	R2.3月	0.9	0.4	▲ 0.4	▲ 1.2	0.6	▲ 3.7
	4月	0.7	▲ 4.1	▲ 4.9	▲ 3.5	▲ 6.5	▲ 10.2
	5月	0.6	▲ 8.3	▲ 8.9	▲ 7.9	▲ 10.2	▲ 15.3
	6月	0.6	▲ 1.4	▲ 1.9	▲ 3.6	▲ 0.2	4.4
	7月	0.5	▲ 4.3	▲ 4.8	▲ 4.1	▲ 5.9	▲ 3.4
	8月	0.4	▲ 3.9	▲ 4.3	▲ 3.7	▲ 5.9	3.4
	9月	0.2	▲ 1.8	▲ 2.0	▲ 1.8	▲ 2.8	1.8
	10月	0.1	▲ 2.4	▲ 2.5	▲ 2.9	▲ 2.7	5.5
	11月	0.0	▲ 4.4	▲ 4.4	▲ 2.9	▲ 7.0	▲ 1.1
	12月	▲ 0.1	0.5	0.6	2.2	▲ 1.9	4.0
	R3.1月	▲ 0.2	▲ 4.6	▲ 4.4	▲ 3.0	▲ 6.6	▲ 5.1
	2月	▲ 0.3	▲ 6.2	▲ 5.8	▲ 7.3	▲ 4.1	▲ 2.2
	年度計	0.3	▲ 3.4	▲ 3.6	▲ 3.3	▲ 4.4	▲ 1.9
令和3年度	R3.3月	0.3	2.8	2.4	0.0	5.2	6.5
	4月	0.1	▲ 2.3	▲ 2.3	▲ 2.4	▲ 3.1	4.5
	5月	▲ 0.1	▲ 5.4	▲ 5.3	▲ 4.0	▲ 7.8	▲ 3.6
	6月	▲ 0.1	▲ 1.0	▲ 0.9	▲ 2.6	0.5	5.5
	小計	0.0	▲ 1.5	▲ 1.5	▲ 2.2	▲ 1.3	3.3

表3 月別医療費等の令和2年度からの伸び率（対令和2年度同月比）

（単位：％）

(診療月)		被保険者数	医療費		1人当たり医療費		
					入院	入院外	歯科
令和3年度	R3.3月	▲ 0.5	2.3	2.8	1.2	4.5	10.5
	4月	▲ 0.7	2.0	2.7	1.2	3.6	16.3
	5月	▲ 0.7	3.2	4.0	4.3	2.7	13.9
	6月	▲ 0.7	0.3	1.0	1.1	0.7	1.0
	小計	▲ 0.7	2.0	2.6	1.9	2.9	10.1

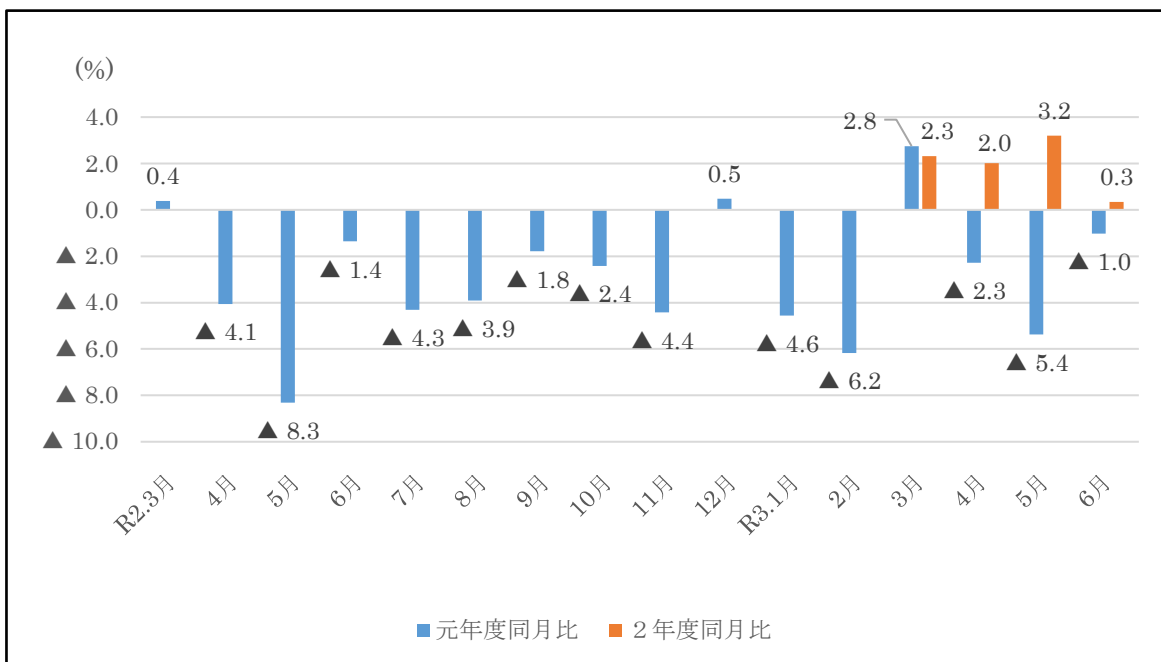
（1）医療費総額

令和2年度の医療費総額は2,442億円で、令和元年度からの伸び率は▲3.4%、85億円の減額となっている。

また、令和3年3月から6月までの医療費は、825億円で、令和2年度の同期間と比較すると2.0%の伸びで15億円の増額となっているが、令和元年度の同期間と比較すると、▲1.5%、12億円の減額となっており、引き続き、新型コロナウイルス発生以前の令和元年度を下回っている。

月別の同月比の状況は、図1のとおりで、令和3年3月は、令和元年度同月比を上回ったものの4月から6月は、下回っている。

図1 医療費総額の同月比（対令和元年度、対令和2年度）



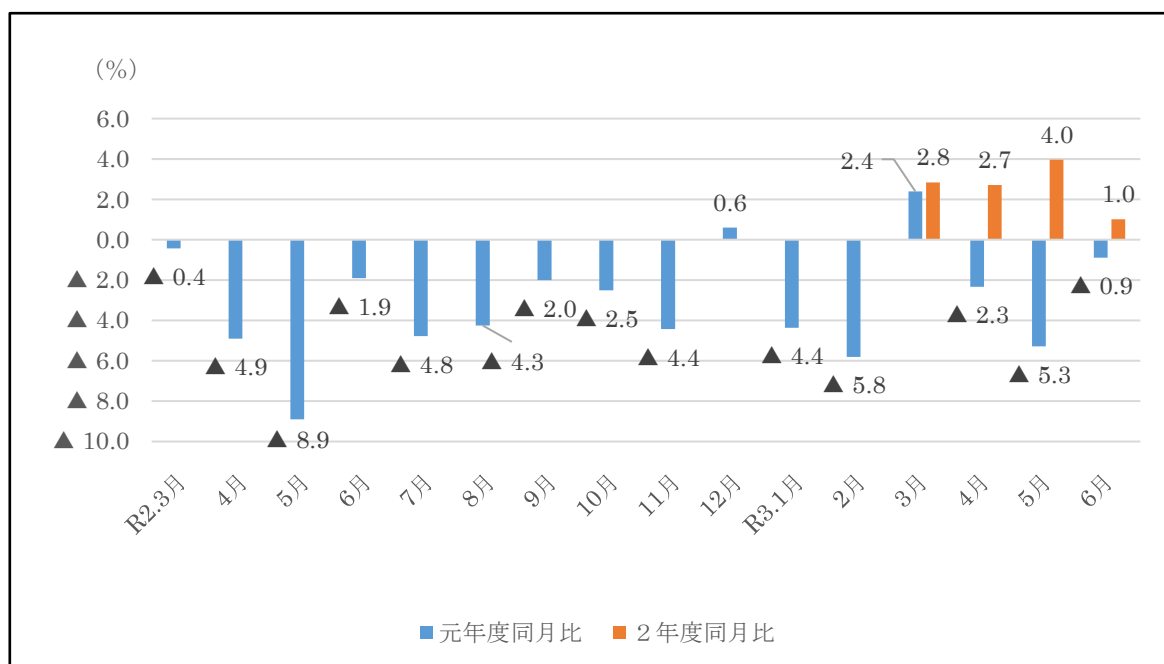
(2) 1人当たり医療費

令和2年度の1人当たり医療費は、1,002,033円で、令和元年度からの伸び率は▲3.6%で37,787円の減額となっている。

また、令和3年3月から6月までの1人当たり医療費は、340,319円で、令和2年度の同期間と比較すると2.6%の伸びで8,707円の増額となっているが、令和元年度の同期間と比較すると、▲1.5%、5,233円の減額となっており、引き続き、コロナの影響が考えられる。

月別の同月比は、図2のとおりで、医療費総額と同様の傾向となっている。

図2 1人当たり医療費の同月比（対令和元年度、対令和2年度）



(3) 診療種別の内訳

診療種別の1人当たり医療費の対令和元年度同月比の状況は図3、対令和2年度同月比は図4のとおりである。

① 入院

1人当たり入院医療費の対令和元年度同月比は、令和2年3月診療月から令和3年6月診療月のうち、プラスの伸び率が2診療月で、それ以外の14診療月はマイナスの伸び率であり、令和3年3月から6月までの小計は、▲2.2%となっている。

② 入院外

1人当たり入院外医療費の対令和元年度同月比は、令和2年3月診療月から令和3年6月診療月のうち、プラスの伸び率が3診療月で、それ以外の13診療月はマイナスの伸び率であり、令和3年3月から6月までの小計は、▲1.3%となっている。

③ 歯科

1人当たり歯科医療費の対令和元年度同月比は、令和2年3月診療月から令和3年6月診療月のうち、プラスの伸び率が8診療月で、それ以外の8診療月はマイナスの伸び率であり、令和3年3月から6月までの小計は、3.3%となっている。

図3 診療種別1人当たり医療費の同月比（対令和元年度）

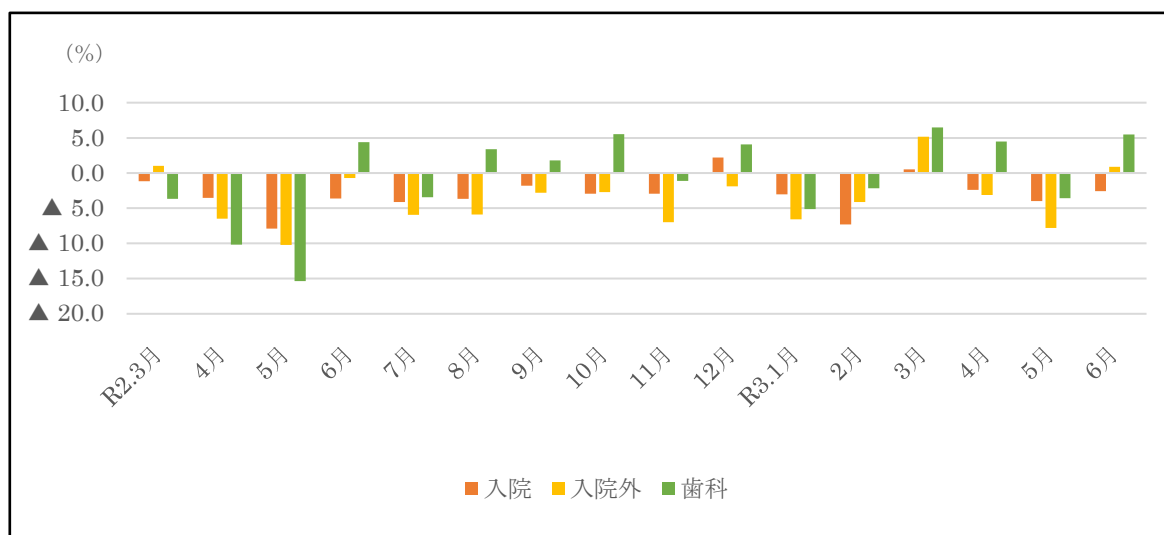
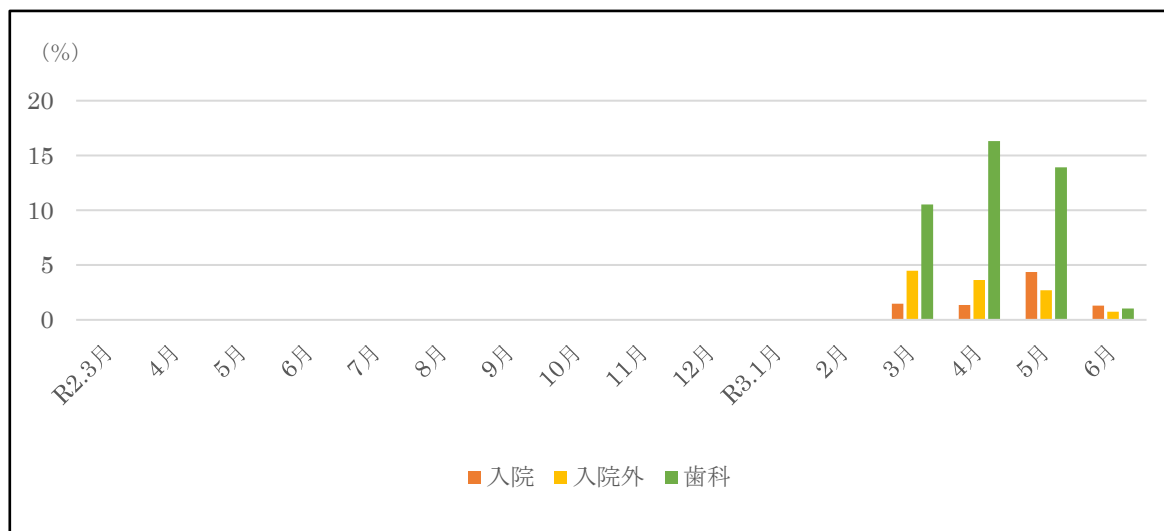


図4 診療種別1人当たり医療費の同月比（対令和2年度）



3 新型コロナウイルス感染症に感染した被用者等に対する傷病手当金について

●対象者

被用者のうち、新型コロナウイルス感染症に感染した者又は発熱等の症状があり感染が疑われる者

●支給要件

労務に服することができなくなった日から起算して3日を経過した日から労務に服することができない期間

●支給額

直近の継続した3か月間の給与収入の合計額を就労日数で除した金額 $\times 2/3 \times$ 日数

※1日あたりの支給額には上限があります。

●適用期間

令和2年1月1日～令和3年3月31日の間で療養のため労務に服することができない期間（ただし、入院が継続する場合等は最長1年6か月まで）



令和3年6月18日規則改正

令和2年1月1日～令和3年9月30日の間で療養のため労務に服することができない期間（ただし、入院が継続する場合等は最長1年6か月まで）



令和3年9月6日規則改正

令和2年1月1日～令和3年12月31日の間で療養のため労務に服することができない期間（ただし、入院が継続する場合等は最長1年6か月まで）

◇支給件数及び支給実績

＜令和2年度＞	支給件数	1件	対象日数	9日	支給金額	97,317円
＜令和3年度＞	支給件数	2件	対象日数	12日	支給金額	26,955円

（令和3年9月30日現在）

4 新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に係る保険料の減免について

◇保険料の減免決定

＜令和2年度＞	減免決定者数	115人	減免額	13,298,477円
＜令和3年度＞	減免決定者数	15人	減免額	1,016,579円

（令和3年9月30日現在）